

1. 調査の目的

豊山町では、より利便性の高い公共交通の実現を目指して、平成23年3月に『豊山町地域公共交通総合連携計画』を策定し、この計画に基づいて、順次様々な取組みを実施するとともに、様々な課題について検討を行っている。

については、連携計画に基づく取組みの成果を計るとともに、検討課題の方向性を探るために、今年度、利用実態調査並びに、利用者・住民意識調査を実施することとする。実施にあたっては、豊山町内から町外へ、あるいは町外から町内への広域的な流動にかかる利便性の向上という観点での実態調査、意識調査も実施する。

2. 調査内容

(1) 路線バス利用実態調査

① 調査対象バス路線

- ・ とよやまタウンバス 北ルート (小牧市役所前 ⇄ 北部市場東)
- ・ とよやまタウンバス 南ルート (航空館boon ⇄ 名古屋栄)
- ・ あおい交通 名古屋空港直行バス (名古屋駅前 ⇄ 県営名古屋空港・エアポートウォーク北)
- ・ あおい交通 豊山幸田・勝川線 (幸田 ⇄ 県営名古屋空港 ⇄ 勝川駅前)
- ・ 名鉄バス 西春・空港線 (西春駅 ⇄ 名古屋空港)

② 調査項目

終日、車内に調査員が乗り込んで、次の調査を実施する。

- ・ OD調査
利用客ごとの乗車バス停、降車バス停、居住地(出発地)、最終目的地、利用目的、バス利用前後の利用交通機関 等
- ・ 利用者アンケート調査
【乗車の際、調査員が調査票を手渡し、郵送で回収する。】
利用実態、利用する理由、満足度、改善要望 等

③ 調査回数

各路線 平日：2日、土・休日：2日

(2) 名古屋市バスの豊山町近接バス停の利用実態調査

① 調査対象バス停 4ヶ所

- ・ 「北部市場」 (黒川11系統)
- ・ 「如意車庫前」 (名駅12系統、栄11系統 他)
- ・ 「如意住宅」「池端」 (幹栄1系統、小田11系統 他)

② 調査項目

終日、各バス停において、調査員が乗車客に次の項目の聞き取り調査を行う。

居住地(出発地)

【居住地又は出発地が豊山町内の乗車客に対して】

降車バス停、最終目的地、利用目的、バス利用前後の利用交通機関 等

- ③ 調査回数
各バス停 平日：2日、土・休日：2日

(3) 住民アンケート調査

① 調査対象

無作為に抽出した中学生以上の豊山町住民3,000人に調査票を郵送し、郵送で回収する。(平成22年度調査と同じ手法)

② 調査項目

- ・ 平成22年度調査と同じ項目
 普段の交通行動(行き先、手段、頻度等)、路線バスの認知度・利用頻度・要望、
 自家用車の利用環境、タクシー利用 等
- ・ タウンバス北ルート of 路線見直しにかかる意識調査(小牧駅・エアポートウォーク乗
 入れ、デマンド運行等)
- ・ 名古屋市バスの延伸にかかる意識調査(空港・エアポートウォーク乗入れ)
- ・ 公共交通マップの改良

3 調査方法

民間業者への委託 (愛知県の平成24年度緊急雇用創出事業基金事業を活用)

4 スケジュール

別紙のとおり